

を行つた。詳細は省くが八割は普通の體格であり、殊に三歳兒に上位の者が多かつた。之ら測定に當り、保母は自ら測定器具の取扱ひを覚え、巧みに子供らを誘導して測定は首尾よく行われ詳しいデータが得られた。

七、疾病豫防に就て。B・C・Gチフテリ及び百日咳の豫防注射、檢便及び驅虫（檢便では總員に蛔虫卵がいた）を行い、毎週一回の檢診は異常者のみを行い投薬して大事を防いだ。公團故、診察中人だかりがして困つたが、出来る限り慎重な診療に努力し効果があつた。

八、その他のこと「既往状態」に關し生下時體重、妊娠中母體の状態、既往榮養、既往傳染病、及疾病、羅病傾向、の調査。「日常生活」に關し、偏食、間食、食慾、寢付、睡眠體位、夜尿、神經質、保育嫌厭兒などの相互關係の調査。「家庭の環境衛生」として住宅の調査を行い家族一人當り〇・五疊の家庭もあり、日光、採光、溫度など前述の結核兒の آپパトが惡條件を備えていることを知つた。その他「父母同胞などの家族歴」も調査した。

之らには特に野外保育の特長がなかつたから別の機會に報告する。が之らの調査に當つて親しく家族と語り、或は様子を探知して眞實を報告得たのは保母に負ふ處大であつた。

要之、健康保育は施設を伴はなければ不可能であるかどうか、試案としてこゝ一學期實際に行つてみた譯であるが、醫

師や保健婦の協力があればこの程度のごときは可能であることが判つた。この中保母自身の力で實行出來た項目は、健康教育、視診、體量測定、體格検査、及各種調査であり、従つて醫師の協力はなくとも指示さえあれば農村の季節保育所でもこの程度の事は可能とみられる。

勿論村或は保健所の保健婦は全面的に協力する努力を惜んではならぬ。

(十八頁より續く)

それをどう引つばつてゆきませうか。

汽車にちなんだのをしてもよろしいですが、汽車にのつて行くと、退屈なのか賣子の賣りに來る繪本をよみます。それをとらえ汽車の中の退屈しのぎとお話に変えたら實に自然に行くでしょう。驛長さんも機關手さんもよつて來るかもしれません。

唱歌は汽車の唱歌、まゝことの歌、自然に歌い出され或ものは汽車にのつてうたつていでしよう。今度はそれを歌うのみでなく、リズム遊びに轉じて、皆が汽車になりリズムに併せて走つたり、歩いたりします。

又一つの短いお話をリズムに併せ動作にさせても面白いでしょう。既習の唱歌もその適した所に入れてやれば又變つた味でもあります。